

平成30年度（大和高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
セクハラ・わいせつ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	電子メール・SNSの利用方法や教材室の適切な使用について、継続して周知を続けた。生徒の個人情報（連絡先）の収集についても繰り返し事故防止会議で研修し、意識の啓発を図った。その結果、セクハラ・わいせつ行為を未然に防止することができた。
会計事務等の適正執行	会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	管理職と担当職員で協力し、1年間の私費会計処理の流れを整理した。また、今年度は部活動や合宿費の会計処理について整理し、会計担当のマニュアルを作成した。業務アシスタントが会計業務を補佐することで、出入金が円滑に行われた。今後も事務室と連携を取りながら、適切な会計処理を徹底していく。
個人情報の管理	個人情報の適切な取り扱いに努め、個人情報の流出を未然に防止する。	各月初めに個人情報に係る意識啓発を行った。定期試験を持ち帰ることなく校内で採点できるよう、休日出勤の場合に振替を取得できることを周知した。また、USBの利用本数を精選した。G Suiteの利用を検討し、データ移行の際のUSB利用の減少を図っている。
業務執行体制の確保等	作業プロセスの簡素化・効率化、文書や電子ファイルの共有化と引継の徹底を図り、未然に事故を防止する。	朝の打合せを教育委員会ネットワークPCを利用して行うことに変更した。出張や短時間勤務の職員も情報の共有を図ることができるようになった。
定期試験・成績処理業務	定期試験問題の作成・管理及び成績処理に係る事故を未然に防止する。	定期試験及び成績処理について、学事グループが校内でのマニュアルを作成し、適切に指示した。試験返却期間のシュレッダーの使用を禁止し、試験や成績に係る文書の誤廃棄を防止した。
入学者選抜業務	入学者選抜業務において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。	公平かつ公正な選抜業務を行うために、入学者選抜に係る手順や研修会の内容を見直した。また、過去のヒヤリハット事例をもとに、必要な情報を職員で共有し、事故を未然に防止した。

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

個人情報総点検の日と合わせて、適切な時期に内容を精選した事故防止会議（研修）を実施することで、職員の危機管理意識の啓発を図ることができた。入学者選抜におけるシミュレーションやシュレッダー使用ルールの整備等の新たな取組も実施し、平成30年度不祥事ゼロプログラムを達成した。平成31年度も、計画的に個人情報総点検の日と事故防止会議を開催し、事故防止に努めていきたい。